

「ドライマウス」って?

DH. 小田 世貴子



唾液が減り、口の中が乾く状態を「ドライマウス」といいます。



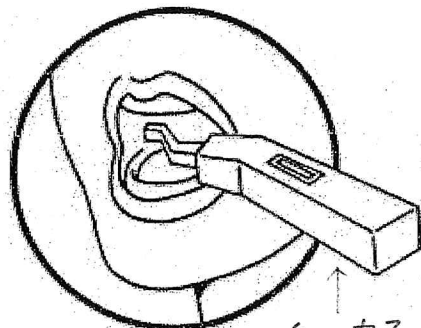
ドライマウスは、高齢化や薬の副作用、免疫疾患のシェーグレン症候群等が原因で発症します。

口の中が乾く状態が続くと、歯周病や虫歯を引き起こすだけでなく、口の中で雑菌が繁殖し、ウイルスが肺に入って誤嚥性肺炎を引き起こすおそれもあります。近年、肺炎が原因で死亡する高齢者も増えてますので、注意が必要です。

特にがん患者は、放射線治療で唾液腺が刺激され、口の中が乾きやすくなります。ドライマウスとわかれば、口の中を清潔にする処置がとれる為、口腔ケアは注目されています。

そこで、ドライマウスかどうかすぐにわかる口内水分計「ムーカス」が開発されました。

体温計のような形で先端についているセンサーを舌に当て、わずか2秒で口腔内の水分を測ります。当院にも常備しておりますので、最近口の中が乾くと感じてる方、ご自分がドライマウスかどうか気になる方は、お気軽にスタッフまでお声かけ下さい。



ムーカス

ふれあいの中で...

DA. 盛島 優子

ソニックアーのエアーフロス、御存知ですか? CMをご覧になった事もあるのではないのでしょうか?

何人が患者さんにお使い頂いてますが、大変好評です。

歯と歯のすき間の汚れを一撃! ぜひ、お試しください。

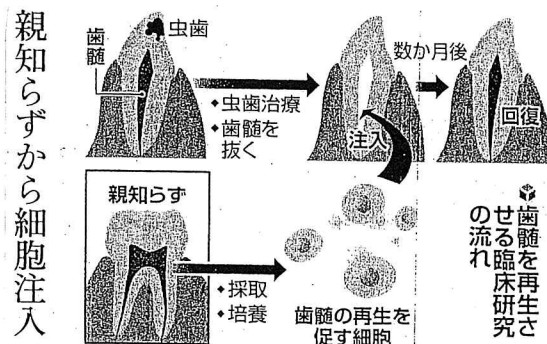
抜いた神経再生への道

DH. 太田 祥子

抜いてしまった「歯の神経(歯髄)」を、親知らずから取り出した細胞を移植して再生する臨床研究が始まります。

神経を抜いた歯は、かぶせた金属のすき間から細菌が入り、虫歯の再発や、歯の根元が化膿してしまい、抜歯に至る場合もあります。

神経再生の研究が進み、高齢になっても入れ歯を使う事のないよう、早く実現するといいですね。



歯髄を再生させる臨床研究

編集後記

季節の変わり目。お体の健康管理とともに、お口の健康管理も忘れずに!
DA. 盛島 優子